

(校訓) 英知 友愛 正義

福石中だより (天神山)

住所 佐世保市干尽町2番10号
電話 0956-31-5708

6月号

令和4年6月6日

佐世保市立福石中学校
校長 福野 生人

命を見つめる日

佐世保市では6月1日を「いのちを見つめる日」として、市内各小中学校で命の大切さについて深く考え学ぶ日になっています。本校でも6月1日に校長講話を行いました。主な内容は次の通りです。

みなさんは書家で詩人の 相田みつを さん、という方を知っていますか。理解できるような優しい言葉の詩を独特の書で描いた作品を手掛けた詩人です。彼の詩の中で「自分の番 いのちのバトン」という詩があります。

「父と母で2人 父と母の両親で4人

そのまた両親で8人

こうして数えていくと 10代前で1024人

20代前では・・・なんと、100万人を超すんです
過去無量の いのちのバトンを受けついで

いま、ここに 自分の番を生きている

それが あなたたちです

それが わたしの いのちです」

という詩です。

私たちは日頃、自分の命は両親から受け継いでいるぐらいの間隔しか持ちません。また、自分の存在は誰ともつながっていない切り離された「個人」と考える時さえあります。しかし、実は私たちは大昔から命のバトンを受け継いで、今を生きています。先日、行われた体育大会の学級対抗リレーを思い出してください。前の走者から受け取ったバトンを持って走った自分の姿を思い出してください。ここまでバトンをつないでくれた仲間のために、また、バトンを待っている次の走者のために走る自分の姿、友人の姿を思い出してください。バトンは受け継がれた命であり、走る距離は自分の人生です。そう考えると自分の人生は自分のもの。しかし、自分の命は自分だけのもの

のではないということです。

今日、当たり前前に福石中学校に登校し、授業を受け、下校時間になると帰宅する。この日常のあたりまえの事に感謝しながら、自らの人生を責任を持って力一杯生きていきましょう。

1年生野外宿泊学習

6月2日(木)～6月3日(金)の1泊2日で1年生の野外宿泊学習を佐世保青少年の天地で実施いたしました。主な活動としては1日目、集団行動、長縄大会、オリエンテーリング、キャンドルファイヤー。2日目は球技大会を実施しました。みんな楽しそうに活動をしていましたが活動の前後で集合しているときに私語があり、先生方に注意を受ける場面も見られました。学校では集団として活動しなければならない



いことがあります。中学生として、しっかりとした自覚を持った行動を心がけることが望まれます。野外宿泊活動のような体験活動で子ども達は大きく成長していきます。今回の活動の経験を生かし、今後、1年生が学年・学級の絆を深め、充実した学校生活を送ってくれるものと期待しています。

※佐世保市中学校体育大会について

今週末より佐世保市中学校体育大会が開催されます生徒たちは、この大会を目標に頑張って練習に取り組んでいます。保護者の皆様のご声援をよろしくお願いたします。